

コア・プロジェクト 骨子

コア・プロジェクト		
プロジェクト名		関連目標・施策
■取組内容		
権利擁護支援プロジェクト		
	身近な権利擁護の周知 ～その人らしい生活を大切にしていこう～	1-2
	■ライフステージや属性に応じた、関心事を「入り口」とした啓発 ■市民参加型のプロセスを通じた日常への権利擁護の意識の浸透	
	意思決定支援とエンパワメントの視点の周知	1-1、1-2
	■専門職を対象にした意思決定支援・エンパワメントをテーマにした研修実施 ■受講を促す仕組みづくりの検討	
世帯丸ごと支援プロジェクト		
	相談につながりやすい環境づくり	5-5、5-7、5-8
	■相談窓口の周知・情報発信 ■福祉への理解促進・偏見の解消 ■福祉教育の充実	
	支援が必要な世帯を早期に発見する仕組みづくり	2-2、3-4
	■行政・関係機関による情報共有、コンビニ・郵便局・金融機関・宅配事業者など民間との連携強化 ■学校園・保育所等との連携	
	複合的な課題に対応する包括的な支援体制の充実	2-1、2-2、4-1
	■多機関・多職種連携のための顔の見える関係づくり ■専門的な研修の充実	
	持続可能な相談支援体制の充実	2-2、4-2
	■会議体、会議手法の見直し ■人材定着支援	
社会参加・地域づくり支援プロジェクト		
	誰もが気軽に立ち寄れる居場所 ～「何かのついで」が、新たな出会いと参加の入り口に～	6-2、6-3
	■既存の資源の活用や団体との連携による交流の場の推進 ■参加者が役割を持ったり、新たな参加者を呼んだりする仕組みづくり ■地域の居場所への専門職の定期的な参加を通じた自然な見守りと相談対応	
	魅力と活動が見える情報発信の展開 ～媒体にとらわれず、必要な人に、必要な情報を、届く形で～	5-7
	■プッシュ型の情報発信など、「伝わる」発信方法の工夫 ■地域でのちょっとした活動や支え合いが分かるような情報の住民との共有	
	多様な主体を巻き込む横断的な連携・協働の推進 ～企業・団体・専門職がつながり、地域に新しい役割を生み出す～	5-3
		■企業や地域団体等との連携ネットワーク「こえる場！」の充実・活用 ■福祉専門職や地域住民が交流する場の展開